

## 第53回デメンシアカンファレンスを開催

2019年8月27日

8月27日（火）に金沢医科大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第53回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、谷野呉山病院、魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の10施設が参加しました。

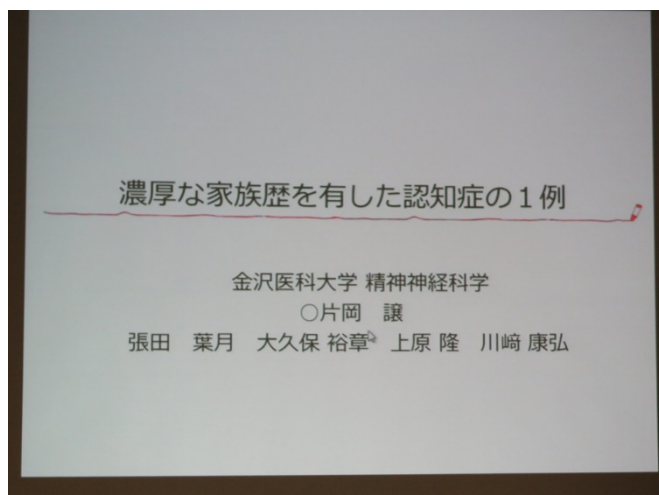
「濃厚な家族歴を有した認知症の一例」のタイトルで、金沢医科大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子



各会場の様子



症例のスライド



質疑応答の様子

## 第 53 回デメンシアカンファレンス抄録

演題名：濃厚な家族歴を有した認知症の 1 例

演者氏名：○片岡 讓 張田 葉月 大久保 裕章 長澤 達也 上原 隆 川崎 康弘

所 属：金沢医科大学精神神経科学教室

変性性認知症の発症にはさまざまな遺伝的な要因が関与する。認知症患者の家族歴を聴取すると、兄弟や両親のいずれかに認知症の方がいることは日常診療で珍しいことではない。今回われわれは、若年で始まった健忘に加え前頭葉症状を呈し、その濃厚な家族歴から常染色体優性遺伝の家族性前頭側頭型認知症パーキンソニズム(FTDP-17)が疑われた一例を経験したので報告する。症例は 71 歳女性。X-10 年より、軽度のもの忘れが出現。また、一日に何度も銀行に行ったりするようになった。X-7 年より、日付がわからなくなり、徘徊・迷子を認めるようになった。X-4 年より、外出・排泄・更衣が自力で行えなくなった。また、これまで節約を好む性格だったが、同時期より浪費が激しくなった。X-2 年より、暴言・暴力が著明となり、X-2 年 7 月 A 病院を初診した。その後、徘徊、放便といった症状が出現し、X-1 年 1 月～3 月まで医療保護入院となった。その後、リスペリドン、バルプロ酸が開始されたが、小刻み歩行が出現したため、当院神経内科を紹介受診した。X-1 年 9 月に当科を紹介初診、外来通院を開始したが、X-1 年 12 月より、易怒性、易刺激性が顕著となったため、X 年 1 月 4 日に当科に医療保護入院となった。認知機能の精査を試みたが、MMSE は滞続言語のため、施行不能であった。頭部 MRI では、脳全体の萎縮が高度であり、特に前頭側頭部の萎縮が認められるもの、明らかな海馬の萎縮も認められた。脳血流 SPECT では、側頭頭頂葉連合野、後部帯状回、楔前部での集積低下が認められた。髄液検査では、リン酸化タウ蛋白の軽度上昇が認められた。加えて、パーキンソニズムを呈しており、またその家族背景として、父、父の従弟、次弟が若年性認知症の診断がついていたことから、FTDP-17(家族性前頭側頭型認知症パーキンソニズム)を考えた。FTDP-17 は Iijima らにより最初に発見された常染色体優性遺伝疾患であり、性格と行動の変化、認知障害およびパーキンソニズムを主体とする運動障害が臨床の 3 つの柱である。特異的バイオマーカーは存在せず、現在のところ確定診断には遺伝子解析が必須である。これらの確定診断には遺伝子検査を要するが、今回は娘 2 人の「結果を知るのが怖い」という意向により実施はしなかった。本例では、当初は緩徐に認知機能が低下したと思われるが、X-4 年に施行された MRI で異常所見がなかったことを鑑みると、それ以降の進行は比較的急速であったことが示唆された。本疾患は常染色体優性遺伝であり、子孫への影響は甚大で、家族の不安も大きいため、遺伝カウンセリングの導入なども検討されるべきである。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)  
第53回デメンシアカンファレンス

# 濃厚な家族歴を有した 認知症の一例

2019年8月27日(火) 18:30~20:00

担 当 金沢医科大学 精神神経科学  
対 象 参加施設及びその他の施設の医療関係者(医療系大学の学生含む)  
発信元 金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室

会 場 認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所(○…参加者受入可)

- ・金沢大学 医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室
- ・富山大学 附属病院2階カンファレンスルーム2
- ・福井大学 附属病院2階キャンサーボード室
- ・金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室
- ・国立病院機構医王病院 地域医療研修室  
・石川県立高松病院 医局会議室
- ・国立病院機構北陸病院 特殊診療棟2階小会議室  
・谷野呉山病院 共通棟1階ミーティング室
- ・魚津緑ヶ丘病院 5階会議室
- ・福井県立すこやかシルバー病院 管理棟2階応接室

申し込み不要

- ・出席される方は、受付で出席簿に氏名等をご記入下さい。
- ・教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。

お問い合わせ

北陸認プロ運営事務局

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL 076-265-2149 / FAX 076-234-4208

E-mail [ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp) / URL <http://ninpro.jp/>